

岡山歴研 会報35号 2月17日発行

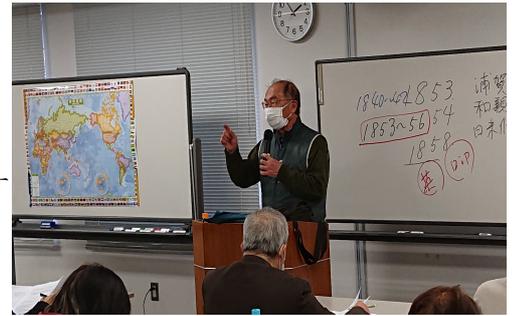
会報35号が2月17日に発行されました。編集委員会では毎年3回の会報を編集発行。会員による研究発表や活動の紹介をしています。問い合わせは 編集委員長 井上知明さん
メール inoueto@gold.ocn.ne.jp 携帯 090-5964-7312

2月10日(金) 歴研サロン

「幕末の国際関係」

元岡山朝日高校校長 柴岡 元氏

ペリーが浦賀に来航した頃、ロシアからはプチャーチンがロシアからの親書を携えて来日しました。歴史教科書にはあまり掲載されていない歴史ですが、日本とロシアの関係史を知るうえでとても貴重な史実です。学校の歴史教科書では学べない歴史の裏面を学ぶ良い機会になりました。



1月22日(日) 歴研サロン

「謎の渡来人徐福・天之日矛・弓月ノ君の正体」

元自衛官 富岡宏之氏

元自衛官の富岡宏之氏による「謎の渡来人徐福・天之日矛・弓月ノ君の正体」に関わる講演でした。様々な渡来人伝説を比較しながらその同一性や相似性。また異なる内容などを通してそれらの渡来伝承の信憑性や背景などについて豊富な資料に基づき、説明されました。

私たちの郷土岡山にも様々な渡来伝承がありますが、それらとのつながりも示唆する内容でとても参考になりました。



12月15日(木) 歴研サロン

「鎌倉殿～承久の乱から家康の浄土まで」 講師 山田良三 事務局長

NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は最後が「承久の乱」前後の動向でした。後鳥羽上皇は隠岐に流され、児島に遷された上皇の皇子頼仁親王の家系が児島高德や宇喜多家につながります。熊野権現にゆかりの児島氏と同族の伊予河野家も上皇方でしたが、河野家出身の念仏僧が一遍です。一遍はその父ともに、法然の弟子西山上人証空から浄土の教を学びました。承久の乱で流され亡くなった祖父と叔父の供養のために訪れた東国で、南無阿弥陀仏の念仏を広めたのです。徳川家(三河松平家)の始まりは上州得川(えがわ)から三河に来た時宗の遊行僧徳阿弥です。徳川の旗印「厭離穢土 欣求浄土」は、法然上人が専修念仏を学んだ恵心僧都源信の「往生要集」にある言葉です。法然はその父の死に際して「仇討ちより菩提を弔ってほしい」という父の願いに従って修行を重ね往生要集に出会い、専修念仏に到ります。怨みや憎しみの心を念仏により赦しと慈悲の心に変えていったのです。来世に往生することより生きてこの世を浄土とするのが南無阿弥陀仏です。家康は桶狭間で負けて失意のあまり先祖の墓前で自刃を試みたとき、菩提寺住職登誉上人に「生きて浄土を築くのが殿の役目です」と諫められて三河の国をさらには日本を争いのない民が平安に暮らせる浄土とするために生涯をかけたのでした。恵心僧都源信は栄西禅師が得度した備中安養寺の開基でもあります。講師の先祖の山田重忠も承久の乱で後鳥羽上皇方で戦った武将ですが、その家系は備中聖人山田方谷先生と同じ尾張山田氏だそうです。

1月28日(土) 楯築ルネッサンス フォーラム2023

<協力団体行事>

「古代吉備の女性首長に思いを馳せて」をテーマに、岡山大学五十周年記念館にて開催された。約200名が参加。松木武彦教授による基調講演、古代日本の中心は九州北部、吉備そして大和へと変遷したと主張。続いて、倉敷市長、赤磐市長、岡山、倉敷、総社の商工会議所会頭が参加したパネルディスカッションが行われた。倉敷市長は楯築の給水塔を令和7年に撤去と言明。主催は楯築ルネッサンス協議会

ホームページ <https://tatetsuki.com/forum/> 090-3375-1362 (近重)



<岡山歴研今後の予定のご案内>

3月2日『日本遺産 桃太郎伝説吉備の中山歴史ウォーキング』 事業委員会

日時： 令和5年3月2日(木) 9:00~15:30 雨天延期(雨の場合は3月9日(木)へ変更)
集合場所：8:40 吉備津神社階段下に 駐車場あり(解散も同所) 参加費 1,300円(当日徴収)
弁当&飲物は各自持参 マスク着用 <参加申込及び問合せ先> 工藤博
電話 090-5690-6533 (工藤) はがき 〒710-0803 倉敷市中島 2007-8 工藤博
メールアドレス dcmw8d3v87426@4d3.gmob.jp

3月10日(金) 歴研サロン「神社の系譜とその祭祀」

岡山歴史研究会 顧問 野崎 豊氏

日時:3月10日(金) 13:30~16:30 場所:きらめきプラザ(旧国立病院)二階 ゆうあいセンター

◇歴研サロンの参加申し込みは◇歴研サロン委員会 メール rekiken.salon.ok@gmail.com

FAX:086-806-2525(山田) 長安登美枝 090-7130-2636 板野忠司 090-7134-2709 まで

3月24日(金) 秦氏を学ぼう! 秦氏学習会 午後1時30分~ ゆうあいセンター

◇京都の史跡巡りに向けて講座「平安京と吉備と秦氏」

講師・山田良三事務局長及び板野忠司氏(総社市秦遺跡保存協議会会長、当会サロン委員長)

秦氏の史跡をめぐる 平安京(京都)は和気清麻呂と和気氏一族が秦氏と協力して造られた都です。京都にはたくさんのゆかりの史跡があります。また吉備の秦氏とも深いかかわりがあります。秦氏の歴史に詳しくツアーの案内役もお願いしている両氏に秦氏について語っていただき共に学んでいきたいと思えます。秦氏ツアーに参加予定でない方も積極的にご参加ください。

参加希望者は電話 090-5690-6533(工藤) または 事務局 山田 090-1033-3327
rekiken.okayama@gmail.com

4月末頃 岡山歴史研究会 令和5年度総会

詳細は検討中です。開催のご案内を差し上げますのでご参加のほどよろしくお願いたします

5月26日(金) 秦氏ゆかりの地~京都の史跡巡り 詳細は会報35号に掲載しています

昨年来の企画の京都の秦氏の史跡巡りです。5月26日実施の予定で、参加者募集を開始しました。
<訪問予定先> 嵐山 松尾大社 愛宕神社 太秦広隆寺 大酒神社 伏見稻荷大社 など

「定説への叛乱 岡山・東京歴史シンポジウム」

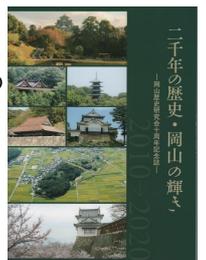
昨年9月に第3回を開催しました。次回のテーマは「卑弥呼」。令和5年春の開催を予定しています。

10周年記念誌

岡山歴史研究会の活動を記録です。より多くの方々に岡山歴研を知っていただくために、会員の皆様にはさらなる頒布や贈呈にご協力ください。(頒布価格 2000円)

◇記念誌の購入・贈呈をご検討の方は事務局までご連絡ください

事務局(山田) 090-1033-3327 rekiken.okayama@gmail.com



吉備国の語り部の会 委員長:丸谷憲二

吉備国の語り部の会は、来年度に向けての図書館、公民館へのPR活動の時期に入りました。皆様の近くの図書館、公民館へのPRをお願いします。令和5年度の案内を作成中です。

吉備国語り部の会 < 問合せ > 丸谷憲二委員長 yanagirousi@gmail.com